

読書

写真台サイズ高さ24倍、幅0でフルトリミング ケイマキ不要

読書

グローバルリーダーシップコーチング協会代表理事
ガンガー総合研究所社長

藤井 義彦氏

あなたの働き方・生き方革命

著者は語る

あなたは、犬のように従順なだけの会社内でしか通用しないビジネスパーソンになっていませんか？ 今後、目指すべき姿は狼の血を入れることです。

私は今まで64カ国を訪れ、日本企業と外資系企業で働き、コーチングや研修を通して多くの国のビジネスパーソンと接してきました。日本人を第三者の目で見ると、ウイークポイントは「個」が弱いことです。日本人は以心伝心で空気を読み、他人を思いやる素晴らしい民族ですが、外に向かっては自信を持って発信できず、自分の言葉で堂々と主張できる人は少数です。大多数の人は価値の根源が自分の中になく、キョロキョロと自信なさげに、世界のどこかに中心を探しています。常に国や会社、他人などに規範を求めなければ安心できません。

「このままでは世界の多国籍企業のトップに日本人が座ることが当分ないだろう」と寂しく思います。「自分は何をしたいのか？」を、自分の言葉で堂々と主張できる人はごくわずかでしょう。真の意味でアサーティブ（相手の考え方も尊重し自然

▷1500円+税
▷日本生産性本部



ふじい・よしひこ 神戸生まれ。慶応大学経済学部卒。スタンフォード大学経済学部卒。カネボウ企画部長、外資系日本法人社長を経て、ガンガー総合研究所（GRI）設立。ハーバードビジネススクールAMP（高等経営者講座）修了。2004年より日本・中国の大学院で教鞭。現在、慶応大学ビジネススクールEMBA特別講師。「どんな時にも成果を出すリーダーが磨き続ける5つの要諦」（日本生産性本部）ほか著書多数。

日本の「従順な」ビジネスパーソンへの応援歌

体で健全に正しく自己主張する）に对话できる人は皆無ではないとしても極めて少ないと思います。

日本で教育を受け、日本の企業で働く日本のビジネスパーソンは企業の中で飼いならされ、「村度」の世界でいつしか従順な下僕になっていく。これで

はグローバル時代に生き残れません。アスリートの世界では、若人が世界に飛び出し、活躍しています。彼らは日本のビジネスパーソンに比べ、強い「個」を持っています。

折しも「働き方革命」が叫ばれている中、労働時間を短くするだけでは幸せな働き方革命に

はなりません。個々の「内発的な改革」すなわち、どのようにすれば自分の個の生産性を上げ、付加価値を高められるかを考えなければなりません。

「働き方革命」とは、あなたの生き方を変えることです。どのように狼の血を入れるのか。今の仕事をどのようにして半分

の時間で済ませるのか。空気が読めてアサーティブなコミュニケーションのできるビジネスパーソンになれるのか。世界を変革し世界を楽園にするという気概を持つ「新日本人」にどのようにして変革するのか…。この本は日本の「従順な」ビジネスパーソンへの応援歌です。